

いろいろ...



どうしよう...

今、県内の各学校ではストレスへの対処法や差別や偏見、誹謗中傷を防ぐための特別授業などの取り組みをすすめています。

子どもたちが一人で悩みを抱えていませんか？

保護者の認識以上に、困った時に助けを求められない子がいます。

Q: お子さんは 困ったことがあった時、人に助けを求めることができますか？

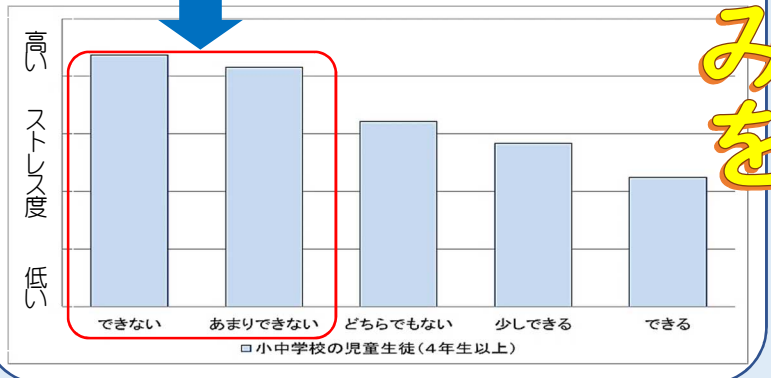
「できない」、「あまりできない」と回答した割合

小学校低学年 保護者の回答 ※ 保護者から見た子どもの様子

6.1% ↓ +10.4%

小学校低学年 子ども自身の回答 16.5% ※ 小学校高学年、中学校の児童生徒・保護者においても同様の傾向が見られます。

自分から助けを求められない子ほど、ストレスが高い



※ 新型コロナウイルス感染症の影響に関する心のケアアンケート調査より(一部文言を変更しています)

◎ご家庭でも子どもたちの話をよく聞いていただくことが、子どもの安心につながります。

※子どもたちが自分の悩みやストレスを他者に伝えることができる力を育てることが大切です。

保護者の皆様へのお願い

- ご家庭において、これまで以上にお子様の様子を丁寧に見ていただき、気になることやご心配なことなどについて、学校と情報共有を図り、連携をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見、誹謗中傷につながらないように、お子様とお話しくださいますよう、お願いします。

お子様の様子は大丈夫ですか？

※ 新型コロナウイルス感染症の影響に関する心のケアアンケート調査より（一部文言を変更しています。）

保護者の認識以上に、長時間ネットを使用している子がいます。

Q: お子さんがあなたにゲーム・SNS・動画など、ネットを使っている時間は1日あたり、どのくらいですか？

「4時間以上」、「3～4時間」と回答した割合

中学校

保護者の回答

※ 保護者から見た子どもの様子

26.3%

中学校

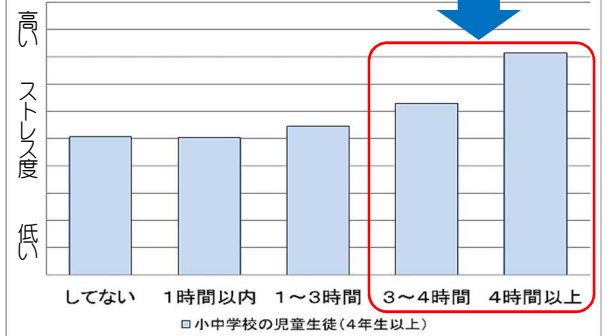
子ども自身の回答

※ 小学校高学年の児童・保護者においても同様の傾向が見られます。

32.3%

+6.0%

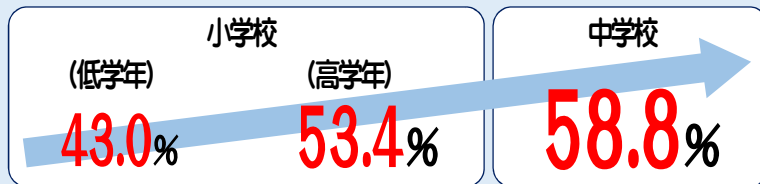
長時間ネットを使用している子ほど、ストレスが高い



◎インターネット使用について、ご家庭で約束を決めるなど、規則正しい生活につなげましょう。

Q: 家庭で感染者に対する差別や偏見、^{ひぼう}誹謗中傷をしてはいけないことについて話をしたことがある。

「あてはまる」と回答した保護者の割合



※ 調査結果詳細は義務教育課ホームページをご覧ください。 <https://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/index.html>

学年が上がるほど、家庭で差別や偏見、^{ひぼう}誹謗中傷は、いけないことについて話をされています。

◎低学年のうちから差別や偏見、^{ひぼう}誹謗中傷をしてはいけないことについて、家庭でも話をさせていただきますよう、お願いします。

学校の取り組み例

- <スクールカウンセラーと連携した心のケアのための特別授業>
伊丹市立花里小学校・有岡小学校
- 感染拡大防止と差別や誹謗中傷を防ぐために正しい知識を学びました。
 - 10秒呼吸法など、ストレスへの対処法を体験しました。
 - 授業後の感想では新型コロナウイルス感染症に苦しむ方や医療関係者の方々を応援する内容が多数ありました。



地域と連携した取り組み例

- <PTAと連携した特別授業>
姫路市立水上小学校
- 新型コロナウイルス感染症に関連した差別防止を呼びかける紙芝居の上映を行いました。
 - PTAがシナリオを考案し、学校の先生がイラストを担当しました。
 - 児童たちは教室のテレビで紙芝居を視聴しました。
 - どんな言葉をかけたら良いか、みんなで考え話し合いました。



【保護者利用可】

ひょうごっ子悩み相談 (ひょうごっ子〈いじめ・体罰・子ども安全〉相談24時間ホットライン)

0120-0-78310

24時間 携帯電話可 通話料無料

0120-783-111

平日9:00~17:00 携帯電話不可 通話料無料

LINE・Webで相談できる、ひょうごっ子SNS悩み相談窓口もあります。(子どものみ)



◎悩みなど、相談がある場合は、上記窓口をご利用ください。

兵庫県マスコット はばタン